

政策シート 政策名 03 戦略拠点の連携強化

予算費目名 01 東京事務所費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 07 地方自治・都市経営

理想の姿 (30年後)	◆協働による持続可能な都市経営を推進し、全国をリードする自立した基礎自治体になっている。
政策の柱 (10年後)	◆協働に関わる多様な主体が連携し、協働による質の高い市民サービスが提供されている。 ◆公共インフラの整備・維持・管理に民間活力の導入が進んでいる。

基本政策 01 市民と共に未来をつかむ都市経営

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

- ・首都圏におけるネットワークの拡大及び情報取得体制の強化
- ・首都圏におけるシティプロモーション活動の活性化

(3) 関連するSDGsのゴール

⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費						
--------	----------	-----	--------	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	36,142	35,327	40,667			
決算	31,157	29,704				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	37,800	37,800	37,800			
年間経費(予算又は決算+A+B)	68,957	67,504	78,467			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
中央省庁等情報取得件数	件	目標	1000	1020	1040	1060	1080	1100
		実績	975	1167				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

- ・首都圏におけるネットワークの拡大及び情報取得体制の強化
- ・首都圏におけるシティプロモーション活動の活性化

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
・政策指標「中央省庁等情報取得件数」は、1,167件となり様々な情報を関係各部署に提供することができた。今後も、市政運営に寄与する情報をいち早く収集し迅速に発信していく。	
・例年参加している首都圏での様々なイベントは中止となったが、サポーターズクラブ会員へのメールマガジンなどを通じて、浜松市の魅力や情報を幅広く発信することができた。	
・新型コロナウイルスの感染拡大により浜松やらまいか交流会は中止したが、首都圏在住の若者を対象とした「はままつ若者交流会 in 東京」を開催し本市との関係性を継続することができた。	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	首都圏情報収集発信事業	○	—	○		25,695	7,355	2.5				0.3
2	東京事務所デジタル運営経費					67	67					
3	東京事務所運営経費	—	—	○		52,705	33,245	2.5				0.7
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						78,467	40,667	5.0				1.0

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 首都圏情報収集発信事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

首都圏における情報収集発信活動の拠点として浜松市の魅力発信に寄与する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H17	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	III-2(2)ア						
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費							⑧成長・雇用	
事業とゴールの関連性		首都圏における本市のシティプロモーション活動を実施することより、関係人口の増加に伴う雇用の創出や文化振興、地場産品の販売促進に繋げるとともに中山間地との交流を深め、持続可能な産業の振興に寄与するものである。							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	10,097	3,384	7,355			
	決算	9,151	2,881				
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,155		450			
	一般財源	7,996	2,881	6,905			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		18,340	18,340	18,340			
人工	正規	2.5	2.5	2.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.3	0.3	0.3			
年間経費(予算又は決算+A+B)		27,491	21,221	25,695			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
首都圏におけるサポーターズクラブ 会員数			目標	1400	1450	1500	1550	1600	1650
			実績	1396	1402				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
07 01 03 01 000407000 01 東京事務所 村上 隆康 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

○浜松サポーターズクラブ会員を浜松の応援団として位置づけ、その拡充を図るとともに、会員に対し市政情報を提供するため、メールマガジンを7回配信した。

○本市の情報発信機能の強化を目的とした、本市ゆかりの方々に参加していただく浜松やらまいか交流会やシティプロモーション活動の一環とした麻布十番まつり等へのイベント参加については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となった。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度 遅れている

・事業指標「首都圏におけるサポーターズクラブ会員数」は1,402人となり、目標を達成することができなかった。また、例年行っている首都圏でのPRイベント参加や浜松やらまいか交流会については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止となった。しかし、観光系出版社・マスコミへの情報提供・メールマガジン等により、浜松市の魅力や情報を発信することができた。

・昨年度に引き続き、首都圏在住の18歳から30歳の若者を対象とした「はままつ若者交流会 in 東京」を開催し、若年層との関係構築を図ることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルスの感染拡大により「新しい生活様式」に基づいたイベントの実施が求められ始めている。

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 情報発信 / 情報発信 事業費 縮小 人工 現状

・浜松やらまいか交流会やPRイベントが中止されたことにより、新規登録の首都圏のサポーターズクラブ会員は微増にとどまっている。

・首都圏若者ネットワーク事業については、緊急事態宣言の発出により「若者交流会」の実施のみとなった。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 情報発信 / ICT化 事業費 縮小 人工 現状

・首都圏で浜松市の魅力や情報を発信する中でやらまいか交流会への若年層の参加促進や各種イベントへの参加・会場の掘り起し、メールマガジンの発信などを行う。また、様々な機会を通じてサポーターズクラブ会員の増加に努めていく。また、首都圏に在住している若者との交流、情報交換を目的とした「首都圏若者ネットワーク事業」を実施する。

・令和元年度から本事業に係る正規職員を0.5人工削減したことより、引き続き事務事業の効率的な実施を図る。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

○浜松サポーターズクラブ会員を浜松の応援団として位置づけ、その拡充を図るとともに、会員に対し市政情報を提供するため、メールマガジンを配信する。

○浜松やらまいか交流会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う「新しい生活様式」に対応した形が必要となり、従来の600人規模の立食ビュッフェ形式は困難なため、交流会は着座形式とし人数を150人程度(在京企業、国会議員、省庁関係者等)に絞って開催する。サポーターズクラブ会員等は、同日開催の物産展に案内する。また、従来行っていた市政報告会や浜松市の情報発信をYouTubeチャンネル等のSNSを活用することで、デジタル化の推進を図る。

○「はままつ若者交流会 in 東京」を拡充し首都圏に在住している若者との交流、情報交換を目的とした「首都圏若者ネットワーク事業」を開催することにより、本市へのUIターン就職の一助とする。

○シティプロモーション活動の一環として、イベントへの参加などを通じた市のPR活動と観光系出版社やマスコミ等を通じた浜松市情報の発信を行う。

(管理番号)									
令和3年度	分野 07	基本政策 01	政策 03	予算費目 01	所属コード 000407000	事業 02	(担当課) 東京事務所	(責任者) 村上 隆康	(基準日) R3.7.1

事業シート (事業名) 02 東京事務所デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

各都道府県及び政令指定都市東京事務所との情報交換並びに各省庁から発信される交付金等の各種情報収集について、「新しい生活様式」に対応した体制を構築し、情報収集の強化を図る。
(タブレット端末1台のリース)

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。								
総合戦略	(施策)								
重点戦略	(戦略項目)								

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			67			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			67			
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				67			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
07 01 03 01 000407000 02 東京事務所 村上 隆康 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

--



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

--



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

--



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

--

事業シート (事業名) 03 東京事務所運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

中央省庁ほか各種関係機関との連絡調整を通じ、国及び関係機関の動向を的確に把握することで、本市の市政運営に寄与する情報の収集・発信を行うとともに、国への要望活動をサポートする。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H17	-	一般会計	自治事務(その他)	

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

									⑨イノベーション
	⑫生産・消費								
事業とゴールの関連性	本事業における情報収集や国への要望活動は、強靱(レジリエント)なインフラ整備、産業及びイノベーションの推進など、本市の持続可能な発展を意図して行うものである。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	26,045	31,943	33,245			
	決算	22,006	26,823				
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,075	1,408	1,418			
	一般財源	20,931	25,415	31,827			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		19,460	19,460	19,460			
人工	正規	2.5	2.5	2.5			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.7	0.7	0.7			
年間経費(予算又は決算+A+B)		41,466	46,283	52,705			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
中央省庁等情報取得件数			目標	1000	1020	1040	1060	1080	1100
			実績	975	1167				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 07 基本政策 01 政策 03 予算費目 01 所属コード 000407000 事業 03 (担当課) 東京事務所 (責任者) 村上 隆康 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 中央省庁等との連絡調整
 - ・中央省庁、国会、指定都市市長会等関係機関からの情報収集・発信活動を行う。
 - ・国の予算に対する市単独要望、期成同盟会等の要望活動を支援する。
 - ・中央省庁の浜松市関係者との人的ネットワーク拡大に取り組む。
- 地元選出国会議員との連絡調整
 - ・市政に関する情報の提供及び収集活動に取り組む。
- 指定都市市長会事務局等との連携
 - ・指定都市市長会の各種要請活動への協力連携及びその他協議会活動に参加する。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・中央省庁、国会等を通じた情報収集・発信活動については、国会議員や指定都市東京事務所等のネットワークを通じて多くの情報入手に努め、1,167件の情報を本庁に提供した。今後も、首都圏に駐在する強みを活かして、浜松市の発展のため本庁各課に迅速な情報提供をしていく。
- ・国への要望活動については、関係省庁の政務三役(大臣・副大臣・政務官)、幹部職員、県内選出国会議員などに積極的な働きかけを行った。
- ・指定都市市長会との連携については、指定都市が抱える課題解決のための要請活動や各種事前協議会の意見交換などに参加するなど、積極的に活動した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

国会等での審議や政策形成過程の情報などから本市の施策推進資するものを正確かつ迅速に提供するため積極的な情報収集に努めた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

有益な情報を収集するため、多方面にわたる人的ネットワークの拡充を図っていくとともに、得られた情報を必要とする関係先に素早く情報提供していく。

また、国への要望活動のサポート、本庁各課からの情報収集要請などにも積極的に対応していく。

令和元年度から本事業に係る正規職員を0.5人工削減したことより、引き続き事務事業の効率的な実施を図る。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- 中央省庁等との連絡調整
 - ・中央省庁、国会、指定都市市長会等関係機関からの情報収集・発信活動を行う。
 - ・国の予算に対する市単独要望、期成同盟会等の要望活動を支援する。
 - ・中央省庁等の浜松市関係者との人的ネットワーク拡大に取り組む。
- 地元選出国会議員との連絡調整
 - ・市政に関する情報の提供及び収集活動に取り組む。
- 指定都市市長会事務局等との連携
 - ・指定都市市長会の各種要請活動への協力連携及びその他協議会活動に参加する。